

二 會社側の態度

會社は要求事項に對し全然拒絶の態度を決し居る
力其の理由トスル處ハ目下一般經濟界の狀態ト競
争線タル東横電車ノ開通ト電燈部ニ於ケル東京電燈
株式会社ノ侵入等ニ依ル會社存立ノ危機ニ當面シ居
レルト為ニ居レルカ特ニ希記大正十五年度ニ於ケル
勞働爭議ノ協約ヲ何等カノ理由ノ下ニ放棄シ上此ノ
機會ニ於テ組合首魁者及高級者ヲ解雇スハキ計畫ニ
テ於テ事務員其他ニ於テ非常時ニ於ケル電車及ヒ自
動車ノ運轉編成ヲ為シ従業員ノ罷免等不穩ニ行動
ニ出ツルヲ期待シ居レリ而シテ會見其他ニ於テハ極
メテ挑戰的ニ出テ不穩當ナル態度ニ出テツ、ナリ客

親的ニハ寧ロ従業員側ニ同情セラルヘキ狀況ニアリ
三、交渉狀況

九月二十一日午前十一時三十分會社樓上應接室ニ於
テ會社側鴉飼支配人三村參事等九名従業員側支配部長
佐藤參治等十二名會見支配人ヨリ要求事項ニ関シテ
ハ第一回答ヲ對スル回答同様ニ御義知アリタレト
ノ回答ヲ與ヘタルニ支配部長佐藤參治ハ現立計画ハ強
制的ニ會社存立ニ收容セラルレ食料布圍料其他ニ依
リ強トシ使錢ナキ狀態ナリ同一狀態ノ業務ニ從事シ
如斯不均等ハ從來ノ者トシハ甚夕面白カラズ若シ
會社存立上賃金低下ヲ必要トセハ吾々ト協定ノ上一
般的ニ賃金ヲ低下スルカ妥當ナラント主張スルヤ會